

# わかりやすい予算説明書

～令和7年度予算概要～

長野県 岡谷市

岡谷市インスタグラムフォトコンテスト2022 入賞

mgyvm さんの作品



# 令和7年度 予算概要



将来への **礎**

未来を育む

元気創生予算

## 「人結び 夢と希望を紡ぐ たくましいまち岡谷」の実現に向けて

市民の皆様には、日頃よりそれぞれのお立場で、また、さまざまな場面でまちづくりにご参加、ご協力をいただいておりますことに、心から敬意を表しますとともに、深く感謝を申し上げます。

令和7年度は、第5次岡谷市 総合計画後期基本計画によるまちづくりの2年目として、これまでの取組を継承しつつ必要な改革を実行し、将来都市像であります「人結び 夢と希望を紡ぐ たくましいまち岡谷」の実現に向けて、本市のさらなる成長と飛躍のための基盤を築いていく重要な年となります。

令和7年度の予算編成にあたっては、総合計画における基本目標であります

- ともに支えあい、健やかに暮らせるまち
- 人が集い、にぎわいと活力あふれるまち
- 快適な生活を支え、住み続けたいまち
- 未来の担い手を育み、生涯を通じて学ぶまち
- 安全・安心で、自然環境と共生するまち
- みんなでつくる、確かな未来を拓くまち

を基調とする中で、「子育てしやすい環境の実現」、「安全・安心の伸展」、「未来に向けた産業の充実」、「魅力発信と賑わいの創出」の4つを重点施策として掲げました。

また、「子育て支援」、「移住・定住の促進」、「ゼロカーボンの推進」など、喫緊の政策課題に対する施策に特に注力して取り組んでいくため、すべての事務事業の徹底した見直しにより、事業の選択と集中を図るなど、限られた財源を効率的かつ効果的に配分し、予算を編成いたしました。

今後の見通しとしましては、重要施策や公共施設の長寿命化・最適化のほか、将来に向けて実施しなければならない事業が重なるなど、財政運営の舵取りが難しい局面にあります。喫緊の課題に的確かつ柔軟に対応しながら、性別や年齢に関係なくすべての市民の皆様生きがいと活躍の場があり、「誰もが輝くことのできる岡谷市」を市民の皆様とともにつくり上げるため、各種施策、事業を確実に実施し、一步一步着実に進んでまいりたいと考えております。

市民の皆様には引き続き、岡谷市のまちづくりへ積極的にご参加をいただきますよう、お力添えをよろしく願いいたします。

岡谷市長 **早出一真**



# 目次

01

予算の基礎知識

1

02

一般会計予算の状況

3

03

令和7年度予算の主な事業

8

- ◆ とともに支えあい、健やかに暮らせるまち…………… 9
- ◆ 未来の担い手を育み、生涯を通じて学ぶまち……13
- ◆ 人が集い、にぎわいと活力あふれるまち……………19
- ◆ 安全・安心で、自然環境と共生するまち……………23
- ◆ 快適な生活を支え、住み続けたいまち……………27
- ◆ みんなでつくる、確かな未来を拓くまち……………31

04

参考資料

32

# 予算の基礎知識

Q1

そもそも「予算」ってなんですか？

1年間(4月～翌年3月)の収入と支出を前もって見積もることです。

新しい年度が始まる前に、1年間にどのくらいの入ってくるお金(歳入)があるのか、また行政サービスをどのように行うのかを計画し、そのための使うお金(歳出)がどのくらい必要なのかを見積もります。これらの内容をまとめたものが予算書です。

Q2

どうやって岡谷市の予算を決めるの？

市長が予算案を作り、市議会の審議と議決によって成立します。

市のそれぞれの担当部署は、市民の意見や要望を聞き、「1年間の行政サービス」を検討します。その後、担当部署の案について庁内全体で協議・検討を重ねたうえで、市長が予算案をまとめ、市議会に提出します。

市民を代表する市議会は、提出された予算案を事業内容や実施体制などの様々な面から審議したうえで議決(議会の意思決定)をします。

Q3

一度決めた予算は変わることはないの？

変わることがあります。それを補正予算といいます。

市議会で決定した予算から事業を実施するうえで、予算を見積もるときに予測できなかったことが起きることがあります。例えば、台風や豪雨などの自然災害などにより、緊急的にお金を使わなくてはならないときは、予算を変える必要があります。このような場合にも、市長が変更する予算案をつくり、最初の予算と同じように市議会へ提出し、審議したうえで議決を受けます。この予算のことを「補正予算」といいます。

Q4

予算はなんのために必要なの？

行政サービスを計画的に行うために、予算が必要です。

予算は、歳入と歳出の見積もりとその計画です。1年間の行政サービスを計画的に行うために、予算を作成することが必要になります。

また、予算の範囲内において執行しなくてはならないことから、前もって行政サービスの計画とそれに見合った予算の作成が必要になるのです。

Q5

## 何を目標として予算を作るの？

総合計画で定めた将来都市像を目指します。

### 第5次岡谷市総合計画に掲げる将来都市像

**「人結び 夢と希望を紡ぐ たくましいまち岡谷」**

第5次岡谷市総合計画は、**2019年度から2028年度までの10年間**の岡谷市のまちづくりの基本となる計画です。

まちづくりの中心は「人」であり、いつの時代も、また、どのような状況下にあっても変わることはない、普遍的なものです。

**「人結び」**とは、本市に関わるすべての「人」と「人」があたたかい「心」でまじわり、多様な主体による地域の支え合いがさらに強くなっていくことをはじめ、「人」と「もの」や、「人」と「こと」、「人」と「情報」など、あらゆるものの結びつきが深化していくことを表しています。

また、**「夢と希望を紡ぐ」**とは、本市の礎を築いた製糸業一繭から繊維を引き出し、縫（よ）りをかけて糸にする一になぞらえて、さまざまなものの結びつきにより、市民やまちが抱く夢や希望が紡ぎ出され、実現し、シルクのように美しく強く、そして輝きを放つ人々とまちを表しています。

さらに**「たくましいまち」**は、岡谷に住み、働き、学び、訪れるすべての人々が、安全で安心して暮らしたり、過ごしたりすることができるまちとしての「やさしさ」と、産業振興によるまちの活力やにぎわいをはじめ、安定した財政基盤など、さまざまなものにより支えられた「揺ぎない力強さ」をイメージしています。

将来都市像に向けた「6つの基本目標」は、P8へ！

Q6

## 令和7年度の岡谷市の予算規模は？

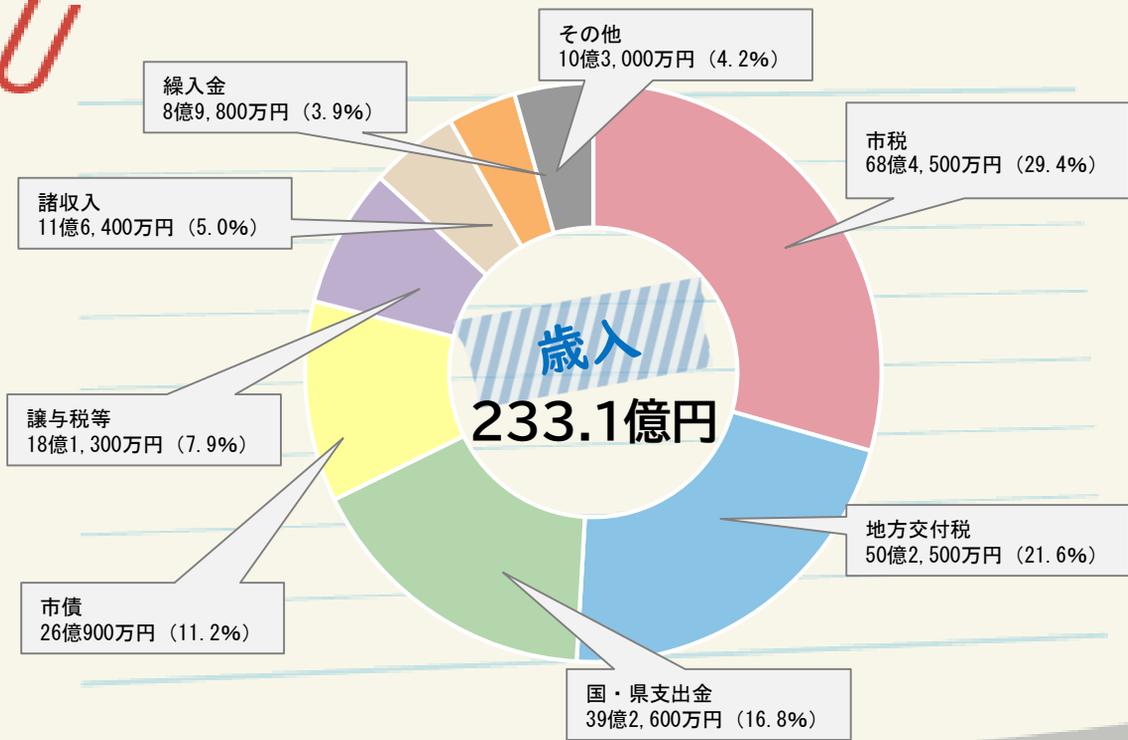
一般会計：233億1,000万円(前年度比 9億1,000万円増)  
特別会計等：55億7,790万円(前年度比 1億9,300万円減)  
企業会計：136億1,832万2千円(前年度比 2億1,334万6千円減)

- ◆一般会計・・・教育・福祉や道路、公園の整備など市の基礎的な行政サービスを行うための会計
- ◆特別会計・・・特定の目的のための会計で、国民健康保険税など特定の収入をもって運営する会計
- ◆企業会計・・・民間企業と同じように、それぞれの事業で収益をあげて運営する会計

☆特別会計・企業会計の内訳は、P4へ

Point!!

# 一般会計予算の状況

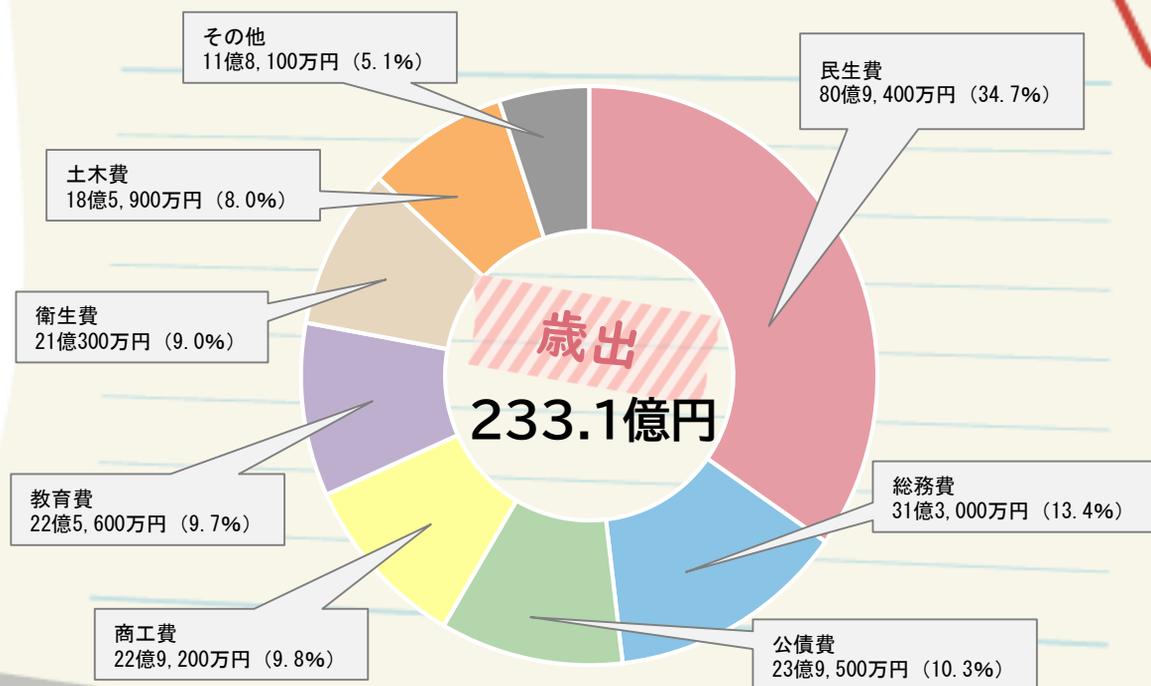


市 税	市民税、固定資産税、軽自動車税、たばこ税など	
地 方 交 付 税	全国で一定の行政サービスが行えるよう国から交付されるお金	
国・県 支 出 金	国・県から特定の事業のために交付される補助金など	
市 債	公共施設の整備等に伴い金融機関等から借りるお金	
譲 与 税 等	国税として徴収された税をもとに地方公共団体に譲与されるお金	
諸 収 入	他の科目に分類されない収入で、延滞金や実費徴収金など	
繰 入 金	市が積立てた基金(貯金)を取り崩してまちづくりに使うお金	
そ の 他	使用料及び手数料	公共施設の使用料や、住民票などの発行手数料
	分担金及び負担金	事業に係る経費の一部を受益の程度に応じ負担していただくお金
	財産収入	財産の貸付け、売り払いなどにより得るお金

参考

～市税収入の状況～

市税は歳入の約30%を占める大切な財源です。このうち個人市民税については、賃上げなどの影響による増収を見込んでいます。一方、固定資産税においては、依然として続く地価下落や、先端設備の導入に対する特例措置による影響等もあり、全体として減収を見込んでいます。



民生費	障がい者や高齢者、子育てなどに使うお金	
総務費	市の運営や税金の賦課徴収、戸籍住民票の管理などに使うお金	
公債費	市債(借金)の返済に使うお金	
商工費	工業や商業、観光の振興に使うお金	
教育費	小中学校、図書館、体育館などの管理運営に使うお金	
衛生費	保健や環境・衛生の向上、病院への繰出金などに使うお金	
土木費	道路や橋、公園、市営住宅などに使うお金	
その他	議会費	市議会の運営に使うお金
	労働費	雇用の促進や勤労者の福祉に使うお金
	農林水産業費	農業、林業などの振興・管理・整備に使うお金
	消防費	消防や救急、消防団の活動などに使うお金
	災害復旧費	被災箇所の復旧に使うお金
	予備費	自然災害など緊急な対応が必要になったときに使うお金

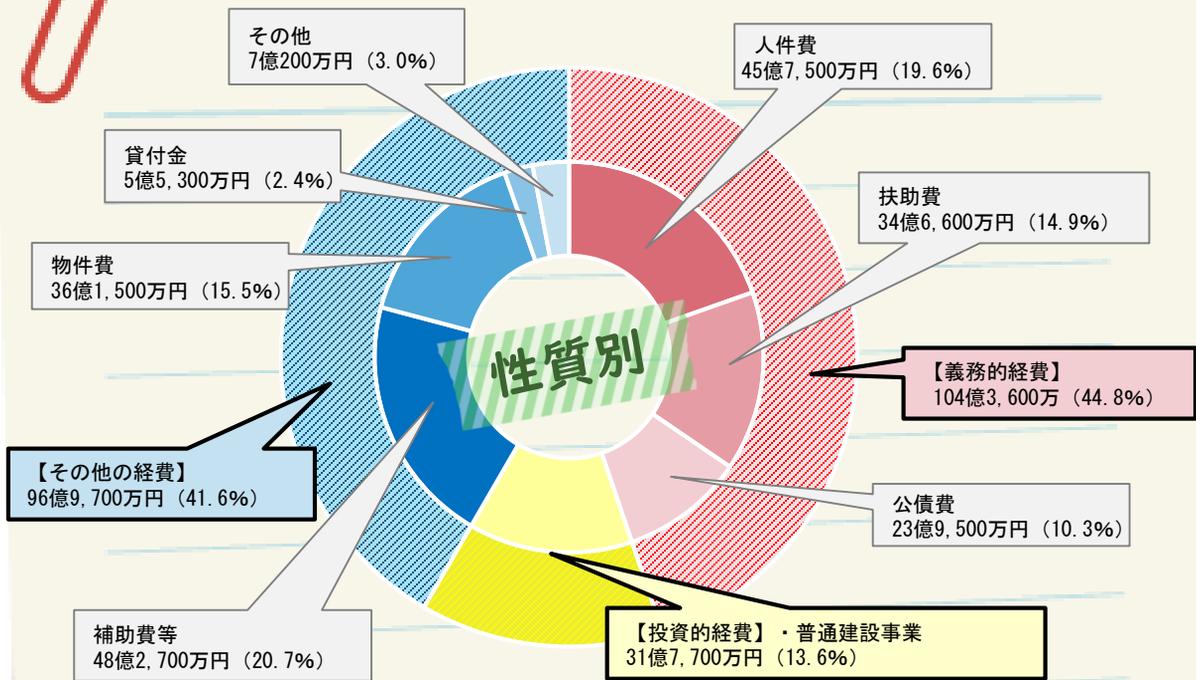
参考

#### 特別会計・企業会計の内訳

特別会計 (55億7,790万円)	国民健康保険事業(41億8,040万円)、地域開発事業(2億3,050万円)、分収造林事業(2,590万円)、霊園事業(2,320万円)、温泉事業(2,200万円)、後期高齢者医療事業(10億9,410万円)、湊財産区一般会計(180万円)
企業会計 (136億1,832万2千円)	水道事業(14億2,527万3千円)、下水道事業(29億3,376万9千円)、病院事業(92億5,928万円)

# 歳出の性質別内訳は次のようになっています。

歳出を経済的な性質を基準にして分類したものが、次のグラフです。  
この分類は、全国のどこの市町村も同じ基準で分類しています。



内側の円の8つの性質(=下表)は、それぞれ外側の円の“3つ”に大別されます。  
人件費と公債費、扶助費を合計したものが「義務的経費」と呼ばれています。これは必然的に歳出しなければならない要素を持っているからです。

普通建設事業費や災害復旧事業費は、「投資的経費」と呼ばれ、社会資本(道路・橋りょう・公園・学校等)の整備に要するものです。

それ以外は「その他の経費」と区分しています。

人	人件費	市長や議員などの特別職と一般職員に支払われる報酬や給料
扶	扶助費	高齢者や障がい者等の施設入所や生活保護などの福祉的な経費
公	公債費	市債の返済に使う経費
普	普通建設事業費	道路や学校などの建設事業に使う経費
補	補助費等	各種団体などへの補助金や負担金
物	物件費	事務に必要な経費や光熱水費、委託料など
貸	貸付金	預託金など直接現金の貸付けを行うための経費
そ の 他	維持補修費	道路や施設の修繕、維持に使う経費
	積立金	基金(貯金)に積立てを行うための経費
	繰出金	他の会計へ支出するための経費
	予備費	自然災害など緊急な対応が必要になったときに使う経費

# 歳出を、**市民ひとりあたり**で計算すると…

令和7年度の一般会計予算は、233億1,000万円ですが、市民ひとりあたりの行政サービスの経費を計算してみました。

**233.1 億円**

(令和7年度の一般会計予算額)

市民ひとりあたり…

**45,301 人**

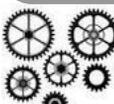
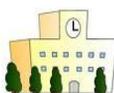
(令和7年1月1日現在の人口)

**約 514,600 円**

令和7年度の一般会計予算(233.1億円)を人口(45,301人)で割ると、市民ひとりあたり 約514,600円の行政サービスを受ける計算です。

一方、これに対して令和7年度の市税68億4,500万円を同様に人口で割ると、市民ひとりあたり約151,100円の負担をいただいていることとなります。

## 514,600 円 の内訳

<p><b>市議会の運営経費</b></p>  <p>4,200円</p>	<p><b>市役所などの運営</b></p>  <p>71,000円 (1,900円)</p>	<p><b>福祉・子育てに</b></p>  <p>180,300円 (1,600円)</p>
<p><b>環境衛生の向上に</b></p>  <p>47,400円 (900円)</p>	<p><b>雇用の確保・拡大</b></p>  <p>1,800円</p>	<p><b>農業などの振興に</b></p>  <p>5,700円 (400円)</p>
<p><b>産業振興の充実に</b></p>  <p>51,700円 (1,100円)</p>	<p><b>道路などまちづくり</b></p>  <p>52,000円 (11,000円)</p>	<p><b>消防・救急体制に</b></p>  <p>14,800円 (1,200円)</p>
<p><b>教育の充実に</b></p>  <p>55,400円 (5,600円)</p>	<p><b>借金の返済に</b></p>  <p>29,200円 ※各目的に分類されない、 その他の財源補てん的な 市債の返済</p>	<p><b>緊急時の備え</b></p>  <p>1,100円</p>

※( )内市債(借金)の返済額

# 予算を、一般家庭の家計簿に例えると…

岡谷市の令和7年度の一般会計予算を一般家庭の1ヶ月あたりの家計に例えてみました。  
6ページの市民ひとりあたり**514,600円**を基準としています。

## 収入

市税	給料(基本給)	151,113円
使用料・手数料等	給料(諸手当)	48,427円
地方交付税等	パート収入	150,958円
国・県支出金	親からの仕送り	86,671円
繰入金	貯金の取崩し	19,831円
市債	金融機関からの借入	57,600円
合計	合計	514,600円

使用料・手数料等: 使用料及び手数料、分担金及び負担金、財産収入、寄附金、繰越金、諸収入

地方交付税等: 地方交付税、地方譲与税、利子割交付金、配当割交付金、株式等譲渡所得割交付金、  
法人事業税交付金、ゴルフ場利用税交付金、地方特例交付金、交通安全対策交付金

## 支出

人件費	食費	100,989円
物件費等	光熱水費	81,337円
扶助費	医療費	76,514円
補助費等	仕送り	106,560円
普通建設事業等	住宅増改築費	70,129円
公債費	借金返済	52,875円
積立金	貯金	1,393円
貸付金等	その他雑費	24,803円
合計	合計	514,600円

物件費等: 物件費、維持補修費

普通建設事業費等: 普通建設事業費、災害復旧事業費

貸付金等: 投資及び出資金、貸付金、繰出金、予備費

Check!!

# 令和7年度予算の主な事業

## 6つの基本目標

ともに支えあ  
い、健やかに  
暮らせるまち

出会いや結婚、妊娠期からはじまるライフステージに合わせた切れ目ない支援を行い、安心して子どもを産み育てることができる環境づくりを推進します。

子どもから大人、障がいのあるなしに関わらず、将来にわたって健康で生きがいを持って生活を送ることができる環境づくりを推進します。

P9へ

未来の担い手  
を育み、生涯  
を通じて学ば  
るまち

個々の能力や適性に応じた学びを提供し、魅力と活力ある学校づくりを推進します。

ライフステージや市民ニーズに応じた多様な学習機会を提供するとともに、未来を担う青少年の健全育成と自立支援を推進します。

市民ひとり1スポーツの実現を目指すとともに、市民の文化芸術活動の活性化を図ります。

P13へ

人が集い、に  
ぎわいと活力  
あふれるまち

基幹産業である製造業を軸として、商業・観光・農林業など産業全般にわたり多くの施策を推進します。

効果的なシティプロモーションの実施により本市の認知度を高めるとともに、本市に住むすべての人々に住み続けたいと望まれる施策の充実を図ることで、移住・定住を促進します。

P19へ

安全・安心で、  
自然環境と共  
生するまち

激甚化・頻発化する自然災害に備えた危機・防災・減災対策を推進するほか、交通安全、防犯、消費生活などの生活安全対策を推進します。

豊かな自然環境の保全と、2050年の二酸化炭素排出量実質ゼロを目指すゼロカーボンシティの実現に向けて各種政策を推進します。

住宅の省エネルギー化や耐震化率の向上など、居住環境の充実を図ります。

P23へ

快適な生活を  
支え、住み続  
けたいまち

将来にわたり生活サービスや地域コミュニティなどが持続的に維持されるよう、人口密度の維持や都市機能の集約・誘導によるコンパクトなまちづくりを推進します。

また、市民生活、地域経済などに必要不可欠な道路・上下水道などの都市基盤の適正な維持管理と更新を推進します。

P27へ

みんなであつ  
く、確かな未  
来を拓くまち

市民をはじめ多様な関係者が手を携え、市民総参加によるまちづくりを推進するとともに、地域リーダーとなる人材の育成や自治活動を促進します。

自治体DXの推進などによる行政サービスの効率化、公有財産の適量・適正化などに取り組み、持続可能な行財政運営を推進します。

P31へ

各事業については次ページより

「おかやでスタート!」結婚新生活支援事業

●地域創生推進課●

国・県	3,663千円	借入	-	予算額 5,527千円
その他	-	市	1,864円	

新規に結婚した世帯に対し、住宅取得費用や賃貸費用、引越費用などに係る経費の一部について助成します。

- 対象世帯：夫婦共に39歳以下かつ世帯所得500万円未満の新婚世帯
- 対象経費：婚姻に伴う新規の住宅取得費用・住宅賃貸費用、引越費用、住環境に要する経費（リフォーム費用等）



●健康推進課●

新規

1か月児健康診査事業

国・県	810千円	借入	-	予算額 1,668千円
その他	-	市	858千円	

疾病などを早期に発見し、適切な指導を行うことで、その進行を未然に防止するとともに、乳児の健康の保持及び増進を図るため、疾病予後の改善が見込まれる身体疾患が顕在化する時期である1か月児に対して行う健康診査に要する費用について助成します。



産後ケア事業

拡充

●健康推進課●

国・県	2,524千円	借入	-	予算額 3,393千円
その他	-	市	869千円	

産後支援を必要とする母子等に対して、医療機関等の施設で宿泊又は日帰り、自宅への訪問によるケアを受けた場合に、その費用の一部を助成するとともに、授乳・育児相談に係る公費負担を行います。

令和7年度は、宿泊型、通所型の上限額を増額するとともに、訪問型を新設するほか、オンライン申請も可能とします。



●健康推進課●

出産・子育て応援事業

国・県	32,475千円	借入	-	予算額 34,302千円
その他	-	市	1,827千円	

妊娠期から出産・子育てまで一貫して身近で相談に応じ、様々なニーズに即した必要な支援につなぐ伴走型支援や経済的支援を一体的に行います。

- 伴走型相談支援  
対象：全ての妊婦及び主に0～2歳の乳幼児を養育する子育て世帯
- 出産・子育て応援給付金  
妊娠届出時：5万円 赤ちゃん訪問時：5万円 合計：10万円





●医療保険課●

## 子ども医療費給付事業

国・県	69,143千円	借入	-	予算額 184,573千円
その他	-	市	115,430千円	

子育て世代の経済的支援を充実させ、子どもの医療費負担を心配せずに安心して医療を受けることができるよう、入院・外来ともに18歳まで1医療機関につき1カ月の窓口負担を500円とします。



●社会福祉課●

## 重層的支援体制整備事業（多機関協働事業）

予算額	332千円	国・県	249千円	借入	-
		その他	-	市	83千円

地域住民の複合化・複雑化した支援ニーズに対応するため、支援関係機関との連携体制を構築し、対象者の属性を問わない相談支援、多様な参加支援、地域づくりに向けた支援を一体的に実施します。



## 高齢者のための補聴器購入助成事業

国・県	-	借入	-	予算額 300千円
その他	-	市	300千円	

加齢性難聴による聞こえにくさを軽減し、生活の質を落とさず高齢者が健やかに暮らすことができるよう支援を行います。

65歳以上の加齢による中等度の難聴者（非課税世帯）に、補聴器購入費用の一部を助成します。

新規

●介護福祉課●



●介護福祉課●

新規

## 地域医療介護総合確保基金事業補助金

予算額	48,501千円	国・県	-	借入	-
		その他	48,501千円	市	-

高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、地域医療介護総合確保基金を活用し、看護小規模多機能型居宅介護事業所の施設整備及び開設準備経費に対して助成します。



- 健康推進課
- 介護福祉課
- 医療保険課

## 高齢者の保健事業と介護予防等の一体的な実施事業

国・県	-	借入	-	予算額 9,850千円
その他	9,850千円	市	-	

高齢者の心身の多様な課題に対し、きめ細かな支援を行うため、フレイル予防講座など各種事業を実施するほか、地域の健康課題の分析や対象者の把握、医療関係団体との連絡調整を行うなど、保健事業と介護予防を一体的に実施します。



- 社会福祉課

## 生活困窮者自立支援事業

国・県	12,309千円	借入	-	予算額 17,056千円
その他	-	市	4,747千円	

自立相談支援を核に、就労支援、住居確保支援、家計改善支援など、それぞれの状況に応じたきめ細かな相談、対応を行い、生活困窮者の自立に向けて幅広く支援を行います。また、ひきこもり支援対策として、関係機関等との連携体制の構築を図ります。



## 健康貯金事業

国・県	373千円	借入	-	予算額 2,153千円
その他	37千円	市	1,743千円	

健康意識の啓発や生活習慣の改善などの「一次予防」を重点的に行うことに加え、疾病を早期に発見し、早期に治療する「二次予防」等の対策についても推進することで、健康寿命の延伸を図り、市民一人ひとりが健康で生きがいのある生活を送ることができるよう、各種保健事業を実施します。

- 健康推進課

岡谷市健康増進計画  
マスコットキャラクター  
たいこちゃん



### ●岡谷市食育推進計画推進事業

予算額 427千円

食育推進計画に基づき、生涯にわたって健康で心豊かな生活を送ることができるよう食育を推進します。

### ●岡谷市自殺対策計画推進事業

予算額 625千円

第4次岡谷市健康増進計画に基づき、地域における自殺対策の強化を推進します。

### ●健康ポイント事業

予算額 1,101千円

岡谷市が実施する健康意識啓発事業や特定健診及びがん検診等を対象に、オカヤペイのポイントを付与します。

### ●おかやヘルスサポート事業

マンパワー事業

岡谷市民病院と連携し、市民ニーズに合ったテーマの健康づくり講演会を開催します。令和7年度については、岡谷市の健康課題である5疾病（がん、脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病、精神疾患）をテーマとします。



## 教育DX推進事業 (GIGA端末第2期整備事業)

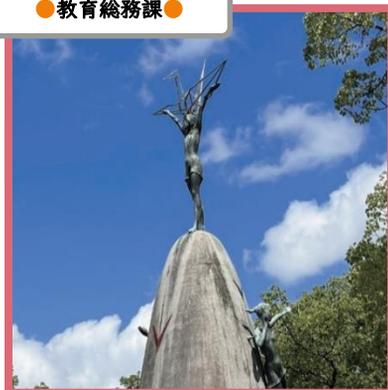
●教育総務課●

国・県	-	借入	-	予算額 38,845千円
その他	34,000千円	市	4,845千円	

学校教育におけるICT活用を推進するため、GIGA端末第2期として、令和8年度に向けて児童生徒1人1台端末の更新を行います。



●教育総務課●



## 平和体験研修事業

国・県	-	借入	-	予算額 3,410千円
その他	552千円	市	2,858千円	

子どもたちの命を守る力を育むため、平和を学ぶ教育を推進します。  
 小学校平和体験研修  
 …小学校6年生を対象として、阿智村満蒙開拓平和記念館で研修を行います。  
 中学校平和体験研修  
 …代表生徒を広島へ派遣し、平和記念式典への参列、被爆者講和等への参加を通して平和学習を行うとともに、学校全体で平和学習に取り組みます。

拡充

●教育総務課●

## 中学校部活動の地域クラブ移行推進事業

国・県	3,651千円	借入	-	予算額 5,372千円
その他	-	市	1,721千円	

中学校の部活動について、国のガイドライン等に基づき、休日部活動の地域クラブ等への移行に向けた取組を推進するため、実証事業を行うほか、部活動指導員を配置します。



●教育総務課●

新規

## 校内教育支援センター設置事業

国・県	2,840千円	借入	-	予算額 13,778千円
その他	-	市	10,938千円	

不登校児童生徒等の支援を強化し、誰一人取り残されない学びの保障を図るため、長地小学校及び市内4中学校に校内教育支援センターを設置するとともに支援員を配置し、不登校傾向のある児童生徒の学習支援等を行います。





## 川岸学園整備事業

●川岸学園整備室●

国・県	67,051千円	借入	343,900千円	予算額 415,594千円
その他	-	市	4,643千円	

★R6補正予算を含みます

川岸小学校と岡谷西部中学校を一体とする施設一体型義務教育学校への移行と、校地内に併設する公立の幼保連携型認定こども園の整備を行います。令和7年度は、仮設校舎の建築、川岸小学校校舎等の解体、川岸小学校の長寿命化大規模改修工事、接続棟の建築工事を行うほか、開校・開園に向け、設立準備委員会及び各専門部会による検討・調整を行います。



●教育総務課●

拡  
充

## 学校給食費保護者負担軽減事業

予算額 43,752千円

国・県	-	借入	-
その他	-	市	43,752千円

給食の質と量を維持するとともに、子育て世帯の経済的負担の軽減を図るため、給食費の約2割分を公費負担します。

【拡充】小学校：一人当たり 30円/食 ⇒ 70円/食

【拡充】中学校：一人当たり 55円/食 ⇒ 80円/食

※経済的負担の大きい低所得世帯等については、就学援助費の拡充により、令和6年度より給食費を無償としております。



## おかやのまちじゅう学園化推進事業 (ウェルビーイング実践校TOCO-TON)

新  
規

●教育総務課●

国・県	-	借入	-	マンパワー事業
その他	-	市	-	

長野県教育委員会から派遣される加配教員とともに、すべての子どもが「好き」や「楽しい」、「なぜ」とことん追求するために、自ら学び方等を選択でき、自己実現できる学校づくりの基盤づくりを進めます。



●生涯学習課●

新  
規

## 移住者向け講座 「“知る暮(シルク)”らしおかや」実施事業

予算額 65千円

国・県	-	借入	-
その他	-	市	65千円

移住者を対象に、岡谷市で暮らす上で必要となるルールや助成制度、市内施設などを紹介する講座を実施します。



# 未来の担い手を育み、生涯を通じて学ぶまち

## ドキドキわくわく 子ども読書推進事業

国・県	-	借入	-	予算額 314千円
その他	-	市	314千円	

子どもたちがあらゆる場所で読書に親しむ機会を得られるよう、成長段階にあわせた、読み聞かせや図書の紹介、図書館でのイベントを実施します。



●図書館●

## ●国スポ・全障スポ推進室●

## 第82回国民スポーツ大会・第27回全国障害者スポーツ大会推進事業

予算額 2,710千円	国・県	-	借入	-
★財源留保を含みます	その他	-	市	2,710千円

第82回国民スポーツ大会・第27回全国障害者スポーツ大会の本市内定競技である卓球、アイスホッケーの実施に向け、実行委員会を立ち上げるとともに、開催地視察や先催地等の情報収集を行います。

また、諏訪市・下諏訪町と共同開催となるトライアスロン競技について、令和8年度の実行委員会立ち上げに向けた準備を進めます。



長野県PRキャラクター「アルクマ」©長野県アルクマ

## スポーツ施設整備事業

国・県	4,585千円	借入	392,900千円	予算額 415,567千円
その他	15,000千円	市	3,082千円	

スポーツ施設の老朽化などに対応するため、計画的な施設整備を行います。令和7年度は岡谷市民総合体育館、やまびこの森アイスアリーナの長寿命化及び国民スポーツ大会開催に向けた大規模改修工事を中心に整備事業を進めます。



●スポーツ振興課●

## ●スポーツ振興課●

拡  
充

## 『大人のためのラン&ウォーク教室』開催事業

予算額 222千円	国・県	-	借入	-
	その他	-	市	222千円

市民ひとり1スポーツの実現をめざし、健康寿命の延伸、健康貯金の促進を図るため、中高年者を対象に、ラン&ウォーク教室を開催します。

令和7年度からは、新たに歩行測定器を用いて、歩き方のくせや姿勢を知り、測定結果を活かしたトレーニングを行います。





## 日本童画美術館大規模改修事業

●ブランド推進室●

国・県	-	借入	11,300千円	予算額 12,600千円
その他	-	市	1,300千円	

施設機能の維持向上、ライフサイクルコストの縮減等に取り組みながら、施設の長寿命化を図るため、パッケージエアコンの計画的更新を実施します。また、令和7年度は子育てバリアフリーの推進を図るため、2階の女子トイレ部分を改修し、授乳室1室を設けます。



●ブランド推進室●

## 童画のまちづくり

### 「第13回武井武雄記念日本童画大賞」

予算額 3,600千円

国・県	-	借入	-
その他	1,000千円	市	2,600千円

武井武雄の童画の精神を継承発展させ、新しい児童文化の創造をめざすとともに、「童画のまちづくり」を全国に向けて発信します。

令和7年度は、「タブロー部門」、「絵本部門」、「こども絵本部門」の3部門で未発表オリジナルの童画、絵本を募集し、審査・表彰します。なお、絵本部門の大賞作品は、フレーベル館より出版します。



## 旧岡谷市役所庁舎保全事業

●企画課●

国・県	500千円	借入	-	予算額 1,375千円
その他	-	市	875千円	

旧岡谷市役所庁舎を後世に継承するため、令和18年の市制施行100周年に向けて、長寿命化と適正な保全を図ります。

令和7年度は、有識者による保全基本方針の検討、デジタル技術を活用した内部公開（コンテンツ制作）、ワークショップによる小破修繕を行います。



●市史編さん室●

## 岡谷市史編さん事業

予算額 14,522千円

国・県	-	借入	-
その他	14,000千円	市	522千円

岡谷市史編さんのため、市史編さん委員会の運営、資料収集・整理・デジタル化、調査研究等を行うほか、令和8年度からの業務委託先の選定を行います。



# 令和7年度 子育て世帯応援パッケージ

妊娠期

保育園(3歳未満児)

保育園等(3歳以上児)

小学校

小児科・産婦人科オンライン相談事業 日中、夜間問わず、小児科医や産婦人科医に相談(妊産婦、15歳までの子

岡谷市こども家庭センター「まゆっこベースおかや」・子ども教育相談センター 市役所の子育てに関する窓

●出産・子育て応援 妊娠届出後・赤ちゃん訪問後にそれぞれ給付金を給付、あわせて伴走型相談支援を実施

●妊婦一般健康診査 妊婦の健康診査費用の一部を助成

●新生児聴覚検査費助成 新生児聴覚検査費用の一部を助成

●産婦健康診査 産婦の健康診査費用の一部を助成

●1か月児健康診査費助成 1ヶ月児健康診査費用の一部を助成

産後ケア 産後、心身のケアや育児サポートを必要とする母子に対し費用の一部を助成

不登校対策アウト

## 子育て世帯訪問支援事業

子育て家庭への訪問による不安等への傾聴のほか、

産後ママサポート

子育てファミリー訪問支援

子育て支援ショートステイ等 保護者の疾病、仕事等により養育が困難な児童を一時預かり

### 子育て応援3歳未満児 保育料軽減

- ・低所得世帯の未満児保育料の無償化
- ・多子世帯の未満児保育料の軽減  
第2子 :1/2  
第3子以降:無償

### 多子世帯副食費支援

- ・低所得世帯の副食費の無償化
- ・多子世帯の副食費の軽減  
第2子 :1/2  
第3子以降:無償

低所得世帯等学校

学校給食費保護者

就学援助制度

市営住宅子育て世帯支援 18歳以下の子どもがいる世帯に対する家賃の2割減免、入居時の風呂設備の

子ども医療費給付 入院、外来ともに、1医療機関につき1か月の窓口負担500円のみ

安心して子育てができるよう、妊娠期から青年期まで、子育て世帯を支援します。

新規

拡充

中学校

高校～

どもの保護者)

口を一本化(母子保健、児童福祉、教育など)

リーチ支援 不登校児童生徒一人ひとりの状況に応じた学習支援等

家事・育児を支援

給食費無償化 就学援助費により給食費の全額を支援

負担軽減 学校給食無償化に向け、給食費の2割を公費で負担

経済的に就学が困難な家庭を対象に、学用品費や給食費等の一部を助成

設置等

育英資金奨学金  
未来の担い手応援

経済的に就学が困難な学生の入学  
準備金及び奨学金の貸付

## 新技術・新製品等 ものづくりチャレンジ企業応援事業補助金

国・県	-	借入	-	予算額 12,000千円
その他	11,000千円	市	1,000千円	

市内製造業の新製品、新技術の創出・高度化への研究開発に必要な経費の一部について支援を行います。

◇一般枠 補助額：補助率1/2以内、上限額1,500千円  
(グリーン成長枠：上限額2,000千円)

◇開発試作枠 補助額：補助率1/2以内、上限額300千円  
(グリーン成長枠：上限額500千円)

●工業振興課●



令和5年度採択事業  
高発電効率垂直軸型小型風力発電システムの開発

●工業振興課●

## カーボンマネジメント支援事業補助金

予算額 15,000千円

国・県	-	借入	-
その他	-	市	15,000千円

市内製造業が取り組む温室効果ガスの排出量の把握及び管理、排出量削減に資する設備投資に必要な経費の一部について支援します。

○対象経費：温室効果ガスの排出量の把握、管理及び削減に要する費用  
○補助額：補助率1/2以内、上限額1,000千円



太陽光発電の活用による温室効果ガスの削減事例

## 成長産業販路開拓支援事業補助金

国・県	-	借入	-	予算額 500千円
その他	-	市	500千円	

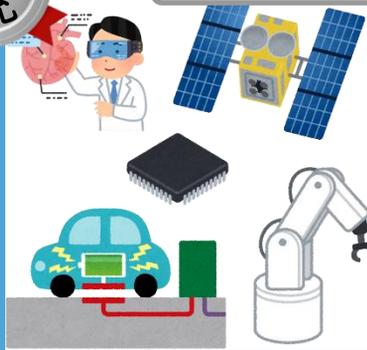
医療・宇宙航空・環境エネルギー・クリーンエネルギー自動車・半導体・ロボット・デジタル産業などの成長産業の販路開拓に必要な経費の一部について助成します。

令和7年度は、対象経費に「技術や製品の試験及び評価に要する経費」を追加します。

○補助額：対象経費の1/3以内、上限額100千円

拡  
充

●工業振興課●



●工業振興課●

新  
規

## 子ども創業マインド育成事業

マンパワー事業

国・県	-	借入	-
その他	-	市	-

未来の担い手となる若者の起業家マインドを育成し、未来予測が困難な社会環境において、柔軟に対応できる人材や将来の創業者を創出するため、小学校高学年及び中学生を対象として、創業者による講演会・アイデア発想のワークショップを実施します。



●工業振興課●

## 地域経済牽引事業の促進

国・県	-	借入	-	マンパワー事業
その他	-	市	-	

長野県と諏訪圏6市町村により策定した「第2期長野県諏訪圏6市町村基本計画」に基づき、地域の特性を生かして、高い付加価値を創出し、地域に経済的効果を及ぼす「地域経済牽引事業」を実施する事業者に対し、各種支援を受けるためのサポート、各支援機関への橋渡しを行い、地域経済の成長の実現を目指します。



●商業観光課●



## 岡谷TMO商業活性化事業負担金

予算額 6,500千円

国・県	-	借入	-
その他	-	市	6,500千円

中心市街地の賑わいを創出するため、岡谷TMOが販売促進活動等を行う商業会及び商業連合会等を支援する「商業活性化補助金」の一部を負担します。

## 商業等振興補助金

●商業観光課●



国・県	-	借入	-	予算額 9,950千円
その他	-	市	9,950千円	

空き店舗の改修、既存店舗の改修及び賃借料の助成等を行い、まちなかの賑わい創出と商店街の活性化を図ります。

- 空き店舗改修補助…補助率：1/2以内 上限額：500～600千円
- 既存店舗改修補助…補助率：1/2以内 上限額：500千円
- 賃借料補助…補助率：1/3以内 上限額：250千円
- 経営者サポート補助…補助率：1/2以内 上限額：100千円

●商業観光課●

新規

## イルプラザ館内空調設備改修工事負担金

予算額 486,600千円

国・県	-	借入	452,900千円
その他	33,000千円	市	700千円

空調設備の故障や劣化が進み、現在使用している部品の生産が終了していることから、今後の維持管理に支障をきたすことのないよう、イルプラザ館内空調設備の改修を行います。



## ツキノワグマゾーニング管理計画策定事業

新規

●農林水産課●

国・県	-	借入	-	マンパワー事業
その他	-	市	-	

クマと人間との緊張感ある共存関係を再構築し、農林業や人への被害を軽減するため、岡谷市ツキノワグマゾーニング（地域区分）管理計画を策定し、主要生息地、緩衝地域、防除地域、排除地域の各区分に応じた被害防止や捕獲等の管理方針を定めます。



●農林水産課●



## 農道水路整備事業

予算額 21,496千円

国・県	-	借入	900千円
その他	15,300千円	市	5,296千円

老朽化が進む農業用水路を計画的に整備し、農業用水の安定的な確保と供給、長寿命化を図ります。

○間下田用水ポンプの更新

## 岡谷シルク推進事業

●ブランド推進室●

国・県	-	借入	-	予算額 2,770千円
その他	98千円	市	2,672千円	

岡谷ブランドの核となるシルクの歴史と文化を伝承するとともに、「岡谷でしかできない」シルクを活かした取組を推進し、新しいシルク文化の創造、シルク文化によるまちの活性化を目指します。

- 岡谷シルクブランドの発信（商品開発促進事業 ほか）
- 蚕糸業の歴史文化の伝承（担い手育成事業 ほか）
- 岡谷シルク体験事業（滞在型等ワークショップ事業 ほか）



●ブランド推進室●

新規

## 若者・よそ者視点から岡谷の魅力を再発見 学生フィールドワーク事業

予算額 540千円

国・県	-	借入	-
その他	-	市	540千円

2泊3日以上フィールドワークを岡谷市で実施する県外学生グループの交通費及び宿泊費を支援し、岡谷市の研究対象としての潜在力を引き出し、地域ブランディングにつなげます。

- 対象経費：交通費及び宿泊費
- 補助額：上限100千円（1グループ）





## 移住交流推進事業

●地域創生推進●

国・県	13,924千円	借入	-	予算額 54,083千円
その他	10,144千円	市	30,015千円	

魅力発信や移住相談などのシティプロモーションをはじめ、移住者に向けた定住のための支援を実施し、住みたい、住み続けたいと望まれる施策の充実を図り、本市への移住定住を促進します。

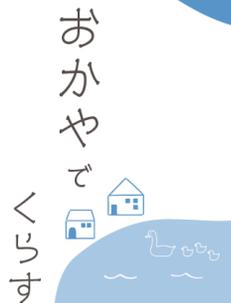
### ●就業・創業移住支援事業

予算額 14,000千円

拡充

長野県との共同事業として、市内企業等の担い手不足の解消及び移住の促進を図るため、東京圏（東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県）、愛知県、大阪府から移住し、就労等の条件（要件緩和）を満たした方に対し移住支援金を給付します。

- 2人以上世帯の場合 1,000千円/世帯
- 単身世帯の場合 600千円/世帯
- 18歳未満の帯同加算 1,000千円/人



### ●就職・移住学生支援事業

予算額 255千円

拡充

大学生等の本市への就職及び移住を促進し、社会動態の増を図るため、東京圏から移住し、就労等の条件を満たした大学生等に対し、就職活動に要する交通費のほか、令和7年度は移転費を新たに支援します。

- 交通費支援 上限 8,500円
- 移転費支援 上限160,000円 【拡充】

### ●若者移住者住まいの支援事業

予算額 14,455千円

移住定住を促進するため、本市へ転入した若者に対し、住宅取得等に要する経費の一部について助成します。

- 住宅取得費補助 上限1,000千円
  - ①移住奨励金 200千円
  - ②住宅取得費補助 500千円
  - ③29歳以下加算 300千円
- 家賃補助 上限 15千円/月（連続する24か月分）

### ●岡谷の魅力体験事業

予算額 790千円

移住定住の準備活動等で本市を訪問した場合に、交通費、宿泊費、市内体験住宅の家賃の一部について支援します。

- 交通費支援 上限 10千円/回（年3回まで利用可）
- 宿泊費支援 上限 5千円/泊（年7泊まで利用可）
- 移住体験住宅 上限 50千円/月（年2回まで利用可）



各補助金の交付には要件があります。このほかの補助金や要件などの詳細をご覧ください。このほかの補助金や要件などの詳細をご覧ください。

※右のQRコードから岡谷市ホームページの移住定住に関する支援のページをご覧ください。

岡谷市ホームページ「岡谷に住む！」>>>



## 防災行政無線等デジタル化整備事業

国・県	-	借入	637,800千円	予算額 637,826千円
その他	-	市	26千円	

緊急時の情報発信機能の強化と住民への情報伝達をより確実なものにするため、防災行政無線のデジタル化を行うとともに、防災気象情報を一元的に収集できるシステムを構築します。



●危機管理室●

新規

## 令和7年度長野県総合防災訓練事業



予算額 7,602千円

国・県	-	借入	-
その他	-	市	7,602千円

災害時に即応できる体制を確立し、地域防災力や防災・減災意識の向上を図るため、長野県との共催により各種訓練を総合的に実施します。

【訓練内容（予定）】

- 開催日：令和7年10月19日（日）
- 会場：岡谷湖畔公園、岡谷市民総合体育館、岡谷市民病院ほか
- 内容：救出救助訓練、避難所開設・運営訓練、炊き出し訓練ほか

新規

●危機管理室●

## 大規模地震対策備蓄物資強化事業

国・県	-	借入	-	予算額 2,000千円
その他	-	市	2,000千円	

令和6年能登半島地震で顕在化した課題や長野県地震防災対策強化アクションプラン等に基づき、災害時及び避難所開設の初期対応に必要な防災備蓄物資の整備充実を図ります。

（備蓄品：携帯トイレ、乳幼児用品、生理用品、食料、水 ほか）



●消防課●

## 消防団員安全技能向上事業

予算額 44千円

国・県	-	借入	-
その他	-	市	44千円

消防団員の安全を確保するとともに、特殊技能の向上を図るため、長野県消防学校に入校し、火災防ぎょや震災等に必要な基礎知識を学び、放水技術や資機材取扱等の活動訓練を実施します。入校した団員は、分団にて伝達講習、必要に応じ消防団員研修会を実施します。





## 消防団屯所改修事業

●消防課●

国・県	-	借入	-	予算額 2,500千円
その他	-	市	2,500千円	

消防団屯所の維持管理を通じて、地域住民の安全・安心の確保を図るため、各分団屯所のトイレ洋式化工事を行います。

令和7年度は、第3分団、第4分団、第6分団、第7分団、第10分団の改修を実施します。



●消防課●



## 消防団員準中型自動車免許取得事業

予算額 500千円

国・県	-	借入	-
その他	-	市	500千円

消防団活動の担い手を確保し、消防力の強化を図るため、消防車両の運転に必要な準中型自動車免許の取得費用の一部を助成します。

- 対象経費 ①第一種準中型自動車免許の取得  
②自動変速機付の限定解除  
③準中型免許車両総重量5トン未満の限定解除
- 補助率 対象経費の1/2以内 上限100千円



●土木課●

## 河川災害防止対策事業

国・県	-	借入	50,000千円	予算額 50,000千円
その他	-	市	-	

良好な河川環境を構築し、流域住民の生命と財産を守り、安全・安心な住環境を実現するため、市が管理する普通河川の改修（河床整備、護岸改修等）を行います。

- 令和7年度改修河川  
《工事》一の沢川、小洞沢川、又五郎川



●農林水産課●

## ため池整備事業

予算額 52,255千円

国・県	51,000千円	借入	1,000千円
その他	-	市	255千円

県が指定した「防災重点農業用ため池」について、耐震性点検調査等の結果に基づき必要な対策を行います。

令和7年度は、常現寺ため池・東除ケ入ため池の廃止工事を行います。



●環境課●

## ゼロカーボン普及啓発事業

国・県	-	借入	-	予算額 86千円
その他	-	市	86千円	

2050年二酸化炭素排出量実質ゼロを実現するため、啓発事業の拡充を図り、地球温暖化防止に対する意識及び環境省が進める新しい豊かな生活(デコ活)の啓発を行います。

- ◇エコドライブ推進事業所登録事業
- ◇環境教育コーディネート事業
- ◇地球温暖化防止啓発事業 ほか



●環境課●

新規

## デコツーリズムin諏訪湖事業

国・県	-	借入	-	予算額 1,150千円
その他	-	市	1,150千円	

諏訪市・下諏訪町との共同事業として、市民や観光客の脱炭素移動、環境イベントへの参加等に対して、協賛事業者が提供する特典と交換できるポイントを付与します。



新規

●環境課●

## マイボトル持ってeco(いこ)う推進事業

国・県	-	借入	-	マンパワー事業
その他	-	市	-	

マイボトル利用促進による、プラスチックごみの削減・二酸化炭素の排出抑制を図るため、市内5か所(岡谷市役所、岡谷観光案内所、岡谷蚕糸博物館、岡谷美術考古館)にマイボトル専用の給水スタンドを設置します。



●環境課●

## プラスチック製品も 分別回収します

## プラスチック資源循環促進事業

国・県	-	借入	-	予算額 22,561千円
その他	-	市	22,561千円	

令和7年度から、市内全域における製品プラスチックの分別収集を開始し、ごみの減量化・資源化を推進します。

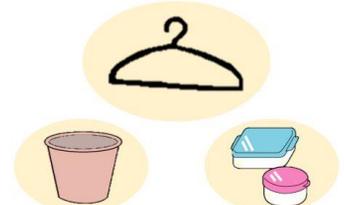


イラスト 出典:経済産業省ウェブサイト  
http://www.meti.go.jp/policy/recycle/main/data/llust/index.html



●都市計画課●

## 住宅防災・減災事業

国・県	7,630千円	借入	-	予算額 10,176千円
その他	-	市	2,546千円	



一般住宅の耐震化率向上を図るため、耐震診断事業を行うほか、耐震性がない建築物の耐震補強に要する経費や現地建替えに伴う除却に要する経費の一部について支援を行います。

- 耐震診断委託（申込者の負担なし）
- 耐震改修補助金…補助率8/10以内 【拡充】 上限額1,000千円⇒1,150千円
- 耐震建替補助金…補助率1/2以内 【拡充】 上限額838千円⇒978.6千円

●都市計画課●

## 市営住宅子育て世帯支援事業



予算額 11,220千円	国・県	2,250千円	借入	-
	その他	5,250千円	市	3,720千円

18歳以下の子どもがいる子育て世帯を対象に、一律2割の家賃減免を実施するとともに、入居時の風呂設備の設置を行います。

また、子育て世帯、母子世帯、父子世帯、多子世帯を対象に、公営住宅への優先入居を実施するとともに、入居住居のユニットバス改修工事と網戸の設置（小萩K1市営住宅）を行います。



●都市計画課●

## 市営住宅への外国人技能実習生等居住事業

国・県	-	借入	-	予算額 2,000千円
その他	2,000千円	市	-	

市営住宅の空き部屋の有効活用と、外国人技能実習生及び特定技能外国人の住まいの確保を通じて、地域活力の向上を図るため、公営住宅の地域対応活用（目的外使用）により、介護サービス事業者を対象として、外国人技能実習生等の入居斡旋を行います。



●総務課●

## 市役所庁舎照明設備LED化等更新事業

予算額 57,000千円	国・県	-	借入	51,300千円
	その他	-	市	5,700千円

ゼロカーボンシティの実現に向けて、市役所庁舎へLED照明器具を導入するとともに、照明制御システムの更新による適切な制御を行い、市役所庁舎の省エネルギー化を実現します。令和7年度は、7・8・9階を実施する予定です。



## 岡谷駅周辺整備事業

新規

●まちづくり整備課●

国・県	-	借入	-	予算額 38,538千円
その他	-	市	38,538千円	

★R6補正予算を含みます

ラオカヤの令和8年度の解体着手及び整備検討に向けて、市民を交えたワークショップの実施、まちづくり関係者や公共交通事業者の皆さんによる『オカヤ駅から未来プロジェクト』の開催、「岡谷駅周辺まちの将来ビジョン」の策定、官民連携体制の構築を進めます。



●まちづくり整備課●

## 地域幹線道路整備促進事業



予算額 71,700千円	国・県	-	借入	64,500千円
	その他	7,000千円	市	2,000千円

地域幹線道路の機能強化と沿道環境の向上を図るため、県が事業主体となる街路事業の整備に係る経費の一部を負担し、事業促進を図ります。

## 都市公園施設長寿命化推進事業

国・県	17,900千円	借入	17,100千円	予算額 40,900千円
その他	-	市	5,900千円	

★R6補正予算を含みます

公園施設長寿命化計画に基づき、公園施設の更新や改修、補修を実施し、誰でも安全で安心して利用できる公園整備を推進します。

- 岡谷湖畔公園
  - ・イベントスカイスポーツゾーン トイレ更新工事
  - ・岡谷市公園等施設長寿命化計画の策定
- 鳥居平やまびこ公園
  - ・サマーボブスレー ソリ搬器更新工事
- 間下堤公園
  - ・遊具の集約・更新工事（滑り台、鉄棒、ブランコ）
- 湖畔公園
  - ・遊具の更新工事（鉄棒、滑り台）
- 出早公園
  - ・遊具の集約・更新工事（滑り台、ブランコほか）
- 塩嶺御野立公園
  - ・給水管切替工事

●まちづくり整備課●



## 道路管理データベース構築事業

新規

●土木課●

国・県	-	借入	-
その他	-	市	2,100千円

予算額 2,100千円

道路施設に関わる様々な情報を地図（データ）上に表示できる仕組みを構築し、道路施設データを一元管理し、情報の「収集・共有」の効率化を図ります。



●土木課●

## 橋梁維持補修事業



予算額 79,000千円

★R6補正予算を含みます

国・県	41,800千円	借入	22,500千円
その他	10,000千円	市	4,700千円

交通の安全を確保するとともにコスト削減を図るため、計画的に橋梁定期点検を行い、橋梁の修繕工事を実施します。

令和7年度は、中央町一・二丁目歩道橋橋梁修繕工事を行うほか、花上寺橋外11橋の点検、長寿命化修繕計画の更新を行います。

新規

●商業観光課●

## シルキーバス車両更新事業

国・県	-	借入	-
その他	-	市	15,000千円

予算額 15,000千円

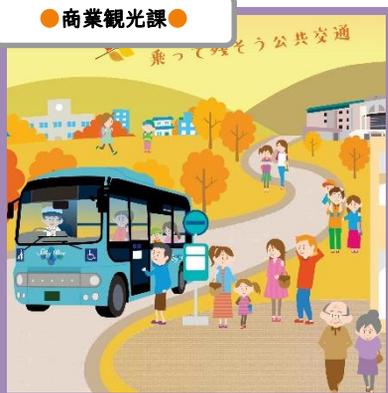
★R7補正予定です

市民の足として運行しているシルキーバスの経年劣化に伴う車両故障や人身事故等を未然に防ぎ、地域公共交通の維持を図るため、年次計画により車両を更新します。



●商業観光課●

## シルキーバス利用促進事業



予算額 75千円

国・県	-	借入	-
その他	-	市	75千円

環境に配慮したエコドライブに継続的に取り組む「岡谷エコドライブ推進事業所」に対して、シルキーバス無料回数乗車券を配布しシルキーバスを利用してもらうことで、地球温暖化対策とシルキーバスの利用促進を図ります。

## 快適な生活を支え、住み続けたいまち

### 道水路等新設改良事業

国・県	24,000千円	借入	220,500千円	予算額 259,000千円
その他	13,000千円	市	1,500千円	

幅員4m以上の生活道路整備を基本に、道路の新設、現道の拡幅、視距改良、交差点改良、道路側溝・水路等排水施設整備、舗装の改築などを実施し、安全で快適な道路環境を構築します。

#### ●道路後退整備事業 予算額 32,000千円

安全で快適な道路環境を構築するため、建築基準法で道路後退が義務づけられている道路について、幅員4m以上の生活道路として整備します。

#### ●通学路交通安全対策事業 予算額 15,000千円

第4次通学路交通安全プログラムに基づき、通学路における安全対策工事を行います。

#### ●湊108号線改良事業 予算額 38,000千円

諏訪湖スマートIC開通後の利便性向上及び交通量の増加に対応するため、湊108号線改良工事を行います。

#### ●長地35号線整備事業 予算額 69,000千円

令和元年度に完成した長地347号線（東堀保育園周辺）から31号線（国道北線）への通行利便性の向上を図るため、長地35号線（沖電線周辺）の拡幅改良を行います。

●土木課●



●土木課●

### 道水路維持補修事業

予算額 406,800千円	国・県	100,000千円	借入	244,500千円
★R6補正予算を含みます	その他	30,300千円	市	32,000千円

舗装の打換え、側溝改修など計画的かつ予防的な維持修繕に取り組むとともに、側溝等の構造物に対する維持修繕を行うことにより、施設の長寿命化を図りつつ、安全で快適な道路環境を保持します。

#### ●計画的舗装修繕事業（交付金） 予算額 203,000千円

★R6補正予算を含みます

社会資本整備総合交付金を活用し、12号線（小井川東町線）の舗装維持工事を実施します。

#### ●計画的舗装修繕事業（起債） 予算額 150,000千円

緊急自然災害防止対策事業債を活用し、舗装表層に必要な対策を講じ、将来的なコスト削減を図ります。

令和7年度 舗装修繕予定箇所

- ・9号線（中道町線）
- ・11号線（今井通り線）
- ・24号線（東山田西山田線）
- ・111号線（旧国道西線）
- ・115号線（下横町線）
- ・119号線（成田町線）
- ・岡谷215号線（田中線踏切付近）
- ・長地6号線（ロマネット付近） ほか

## 水道施設更新事業(水道事業会計)

国・県	8,000千円	借入	143,400千円	予算額 258,000千円
その他	11,000千円	市	85,750千円	

★R6補正予算を含みます

安全安心な水の安定供給を行うため、県事業や市道整備に合わせた管路整備のほか、水源・配水池など水道施設の場内整備や機械設備類の更新等を実施します。



●水道課●

●水道課●



## 水道施設耐震化事業(水道事業会計)

国・県	72,000千円	借入	191,400千円	予算額 391,000千円
その他	-	市	127,600千円	

★R6補正予算を含みます

震災等の発生時におけるライフラインの確保と危機管理体制を強化するため、災害時の重要拠点となる医療機関や福祉施設などへの重要管路の耐震化整備を行います。

## 下水道総合地震対策事業(下水道事業会計)

国・県	54,000千円	借入	48,600千円	予算額 108,000千円
その他	-	市	5,400千円	

★R6補正予算を含みます

下水道総合地震対策計画に基づき、「防災」と「減災」を組み合わせた総合的な地震対策を推進するため、計画的に下水道施設の耐震化を進めます。

令和7年度は、市内医療機関や避難所などから排水を受ける下水道管路の耐震化工事を行います。



●水道課●

●水道課●

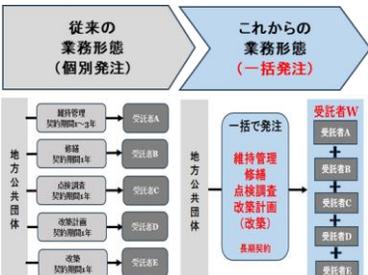
新規

## 公共下水道官民連携推進事業(下水道事業会計)

国・県	20,000千円	借入	-	予算額 22,000千円
その他	-	市	2,000千円	

★R6補正予算

限られた予算及び人員のもとで効率的な下水道事業を持続的に実施していくため、民間事業者の技術やノウハウを最大限活用できる官民連携事業の導入可能性調査を行います。



●地域創生推進課●

## ふるさと寄附金 寄附促進事業

国・県	-	借入	-	予算額 100,000千円
その他	100,000千円	市	-	

市内事業所が取り扱う特産品等を返礼品として送付し、本市の知名度向上や岡谷ブランドの発信を行うとともに、地域産業の活性化を図ります。

また、寄附金に関する事務や業務を委託した事業者と連携を図り、本市の魅力発信やシティプロモーションを推進し、寄附件数・金額の増加を目指します。



返礼品は随時更新中です!  
最新の情報はこちらのQRコードからご覧いただくか、地域創生推進課までご連絡ください!



作り手のこだわりを体感してみませんか。



ふるさと納税ポータルサイトをご覧ください



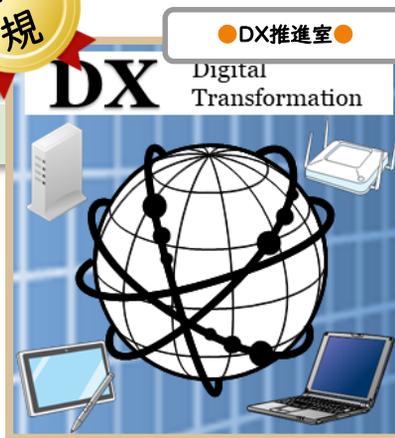
新規

●DX推進室●

## 自治体DX推進事業(デジタル専門人材派遣事業)

国・県	-	借入	-	予算額 13,520千円
その他	-	市	13,520千円	

本市のDXを推進するにあたり、庁内におけるマネジメントを専門的見地に基づいて実施するデジタル専門人材の派遣を受け、効果的な推進体制を構築し、オンライン申請やペーパーレス化など、市民の利便性向上及び職員の業務効率化を目指します。



新規

●市民生活課●

## マイナンバーカード総合窓口整備事業

予算額 7,341千円

国・県	7,341千円	借入	-
その他	-	市	-

マイナンバーカード総合窓口に「申請書自動作成システム」を導入し、マイナンバーカードの交付、更新等の手続きに必要な申請書の作成を自動化するほか、プライバシーに配慮し高齢者等にも優しいフロア改革を行います。



## ◇会計◇

### ・一般会計

地方公共団体の基本的活動(行政運営)を行うのに必要な歳入、歳出を経理する会計。

### ・特別会計

特定の事業や資金運用の状況を明確化するため、一般の歳入歳出と区分して経理する会計。本市では、岡谷市国民健康保険事業特別会計、岡谷市地域開発事業特別会計、岡谷市分収造林事業特別会計、岡谷市霊園事業特別会計、岡谷市温泉事業特別会計、岡谷市後期高齢者医療事業特別会計を条例で定めています。

### ・企業会計

地方公営企業法の全部又は一部が適用される公営企業の会計。本市では、岡谷市水道事業会計、岡谷市下水道事業会計、岡谷市病院事業会計が該当します。

## ◇地方交付税・財政規模◇

令和7年度は、制度創設以来「発行なし」となります。

### ・地方交付税

地方公共団体の自主性を損なわずに、地方財源の均衡化を図り、かつ地方行政の計画的な運営を保障するために、国税のうち、所得税、法人税、酒税及び消費税のそれぞれ一定割合及び地方法人税の全額を、国が地方公共団体に対して交付する税。地方交付税には、普通交付税と災害等特別の事情に応じて交付する特別交付税があります。普通交付税は、基準財政需要額が基準財政収入額を超える地方公共団体に対して、その差額(財源不足額)を基本として交付されます。

### ・臨時財政対策債

地方一般財源の不足に対処するため、投資的経費以外の経費にも充てられる地方財政法第5条の特例として発行される地方債。通常収支の財源不足額のうち、財源対策債等を除いた額を国と地方で折半し、国負担分は一般会計から交付税特別会計への繰入による加算(臨時財政対策加算)、地方負担分は臨時財政対策債により補填することとされています。

### ・基準財政需要額

普通交付税の算定基礎となるもので、各地方公共団体が、合理的かつ妥当な水準における行政を行い、又は施設を維持するための財政需要を算定するものであり、各行政項目ごとに、次の算式により算出されます。【単位費用 × 測定単位 × 補正係数】

### ・基準財政収入額

普通交付税の算定に用いるもので、各地方公共団体の財政力を合理的に測定するために、標準的な状態において徴収が見込まれる税収入を一定の方法によって算定するものであり、次の算式により算出されます。【標準的な地方税収入 × 75/100 + 地方譲与税等】

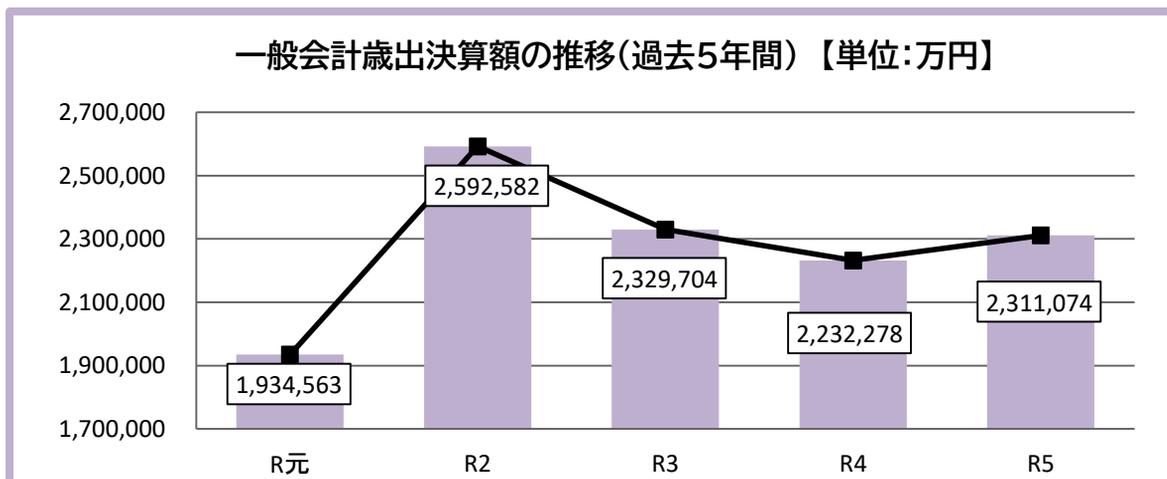
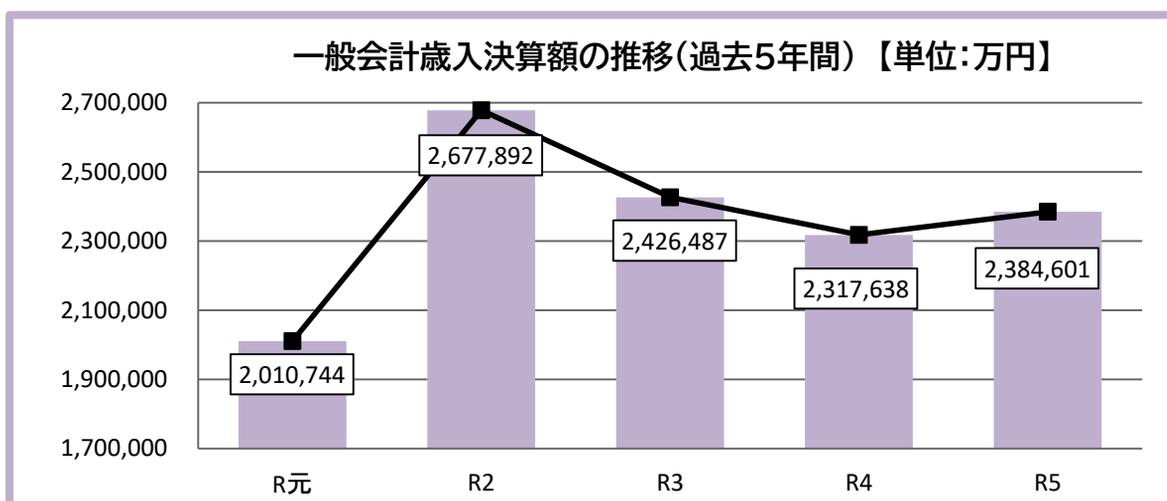
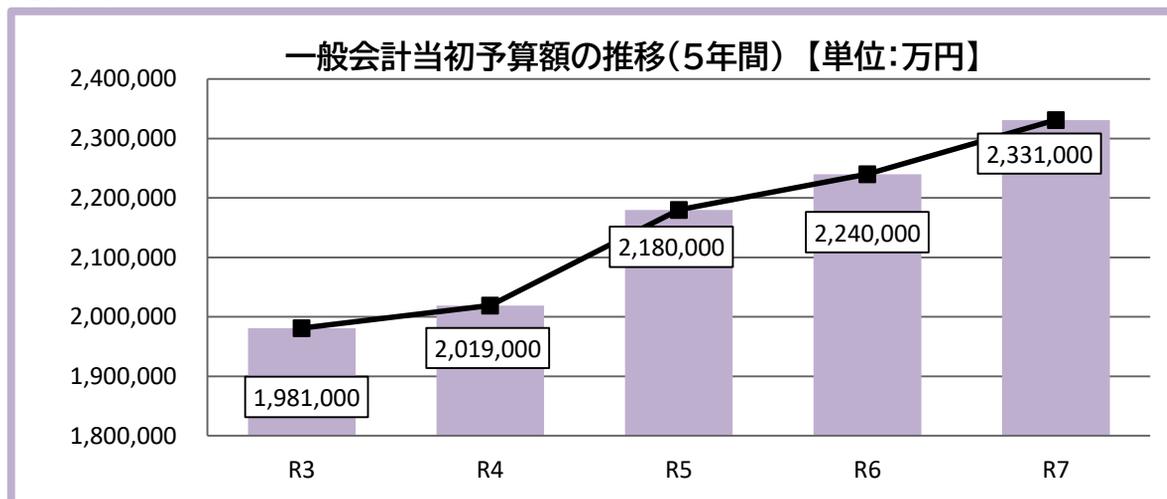
### ・標準財政規模

地方公共団体の標準的な状態で通常収入されるであろう經常的一般財源の規模を示すもので、標準税収入額等に普通交付税を加算した額。

### ・財政力指数

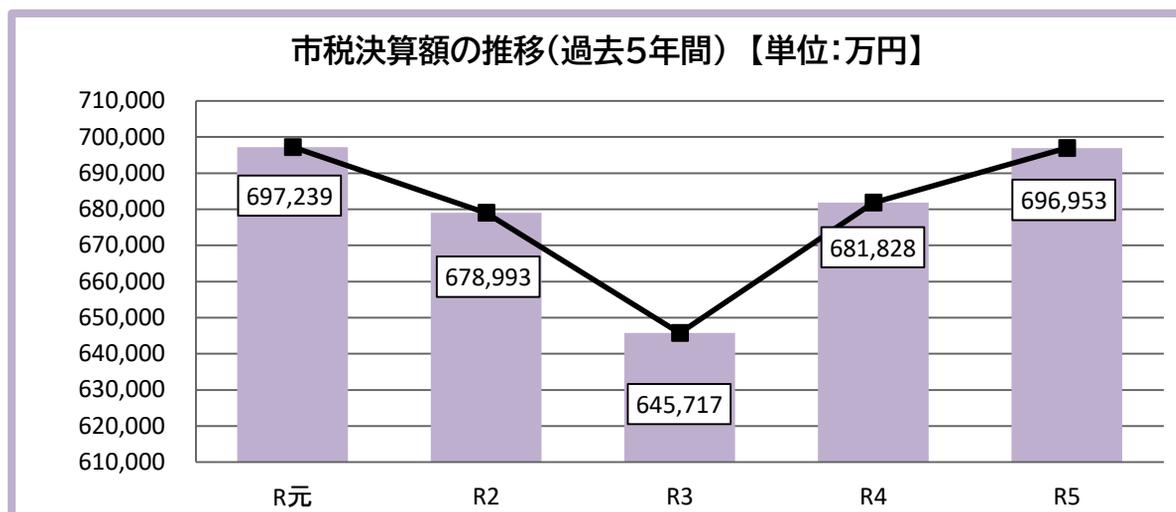
地方公共団体の財政力を示す指数で、基準財政収入額を基準財政需要額で除して得た数値の過去3年間の平均値。財政力指数が高いほど、普通交付税算定上の留保財源が大きいことになり、財源に余裕があるといえます。

## 参考資料

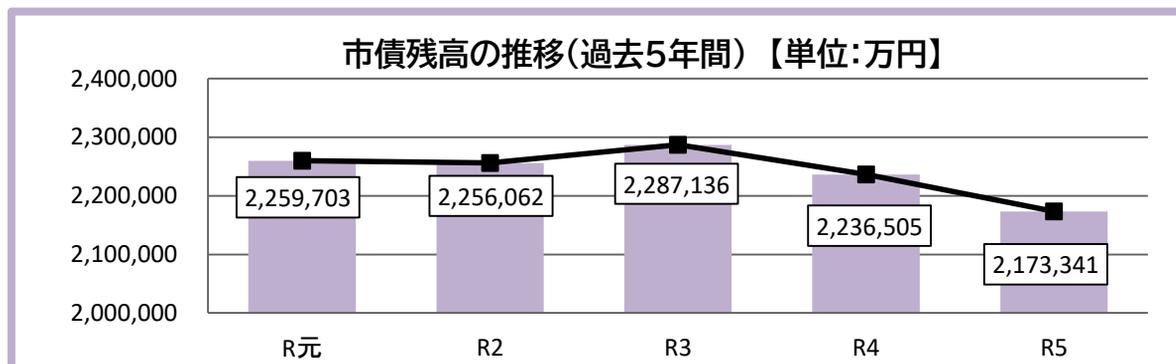


その年度の市の収入である歳入と支出である歳出に分けて計画を立てたものが「予算」ですが、年度が終わったあとに、その年度途中の補正予算を含め、どのような収入があって、どのようなことにどのくらいのお金が使われたかを結果として示すものが「決算」です。

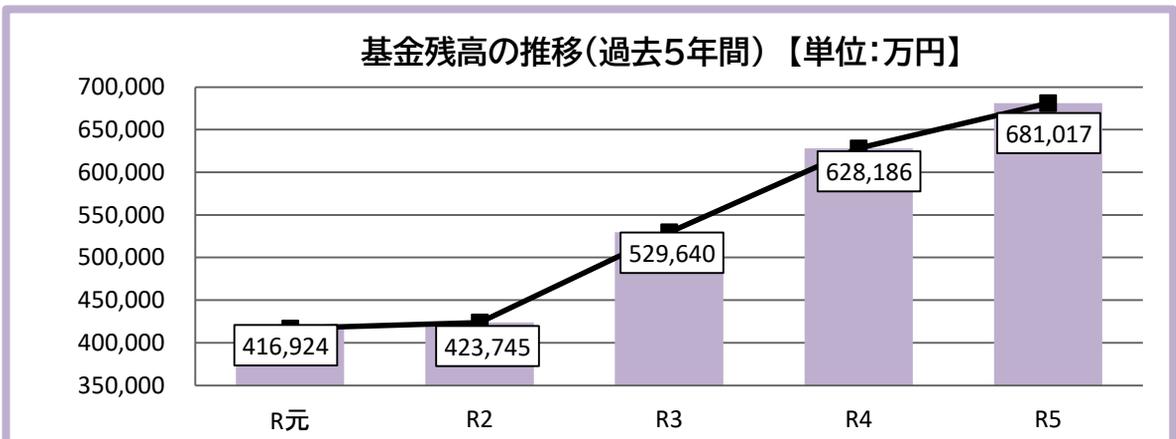
令和5年度は、長引く原油価格・物価高騰等への対応に係る経費が増加しましたが、国・県等の補助制度や市債などの特定財源を有効に活用し、積極的な事業を展開した結果、翌年度への繰り越しを除く実質収支では約6億9,000万円の黒字決算となりました。



市民の皆さまや事業所などから納められた市税収入の推移です。  
 令和5年度は、新型コロナウイルス感染症の影響から回復傾向が見られ、市税収入全体において、前年度決算額に比べて約1億5,000万円の増となりました。



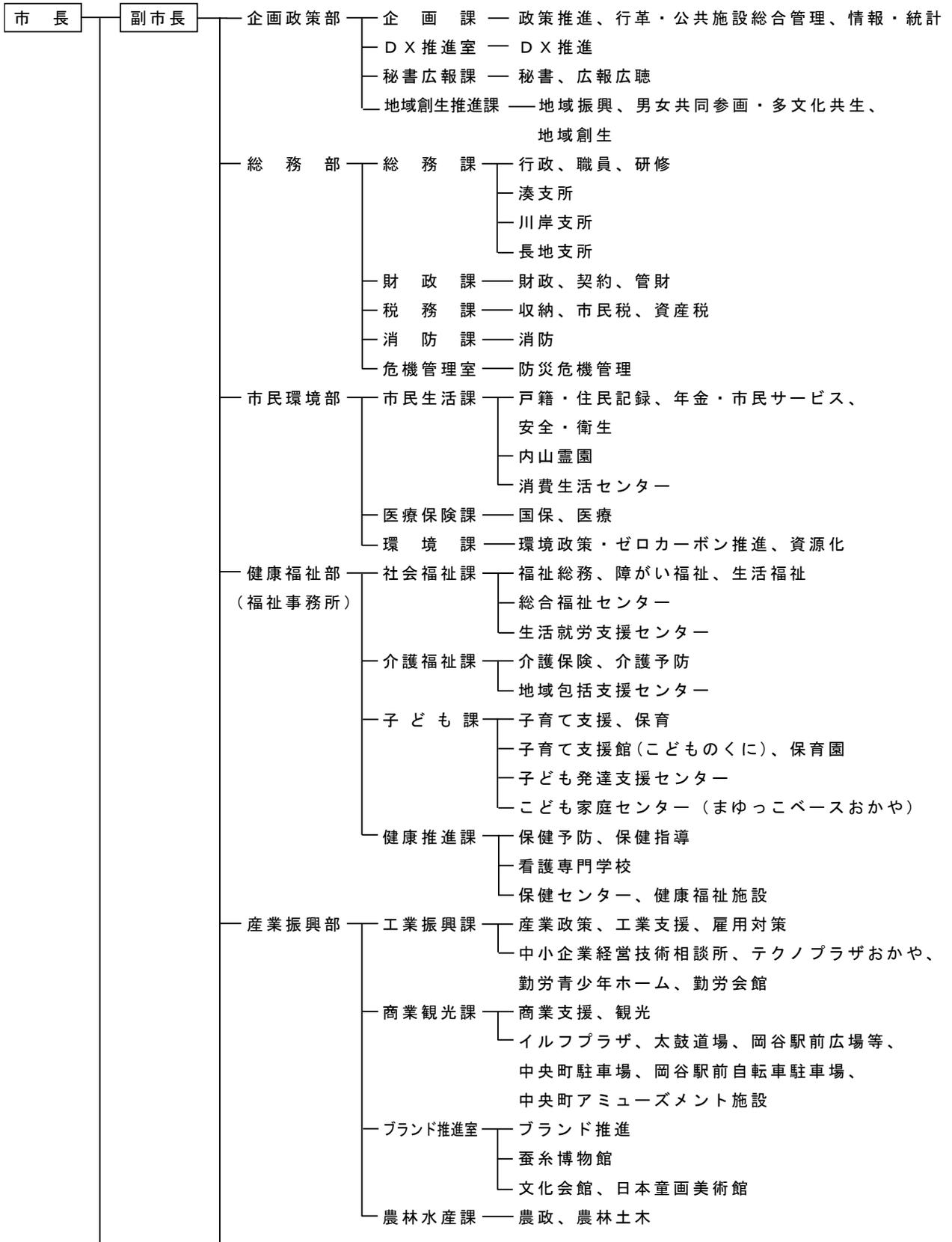
市の借金である市債の残高の推移です。これまでキャップ制による市債残高の抑制を実施してきたことから、近年減少傾向が続いており、令和5年度は前年度比で約6億円の減となりました。なお、令和3年度は、令和3年8月大雨災害に係る災害復旧事業等により前年度より増となっていますが、今後も引き続き、将来世代に対し過度な負担となることがないように、市債の適正な発行と管理に努めていきます。

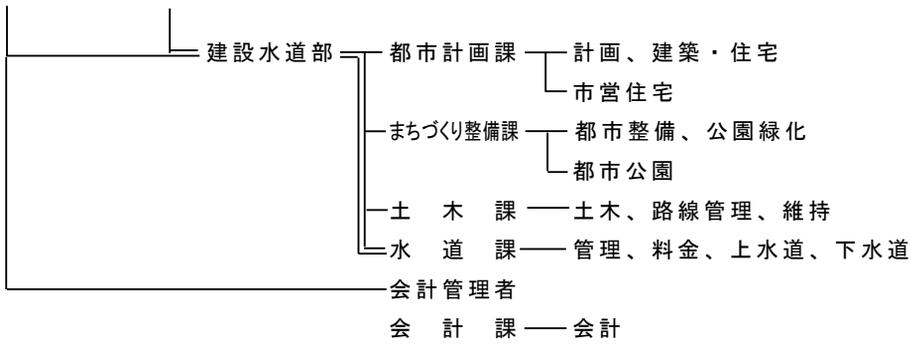


市の貯金である基金の残高の推移です。平成27年度以降は、ふるさと納税による寄附金の増などにより増加傾向となっています。令和5年度は予定していた基金からの繰入を抑制しつつ、財政調整基金・減債基金等への積立を実施しました。今後も基金に頼らない財政構造への転換を図るとともに、基金の積み増しを計画的に行っていきます。

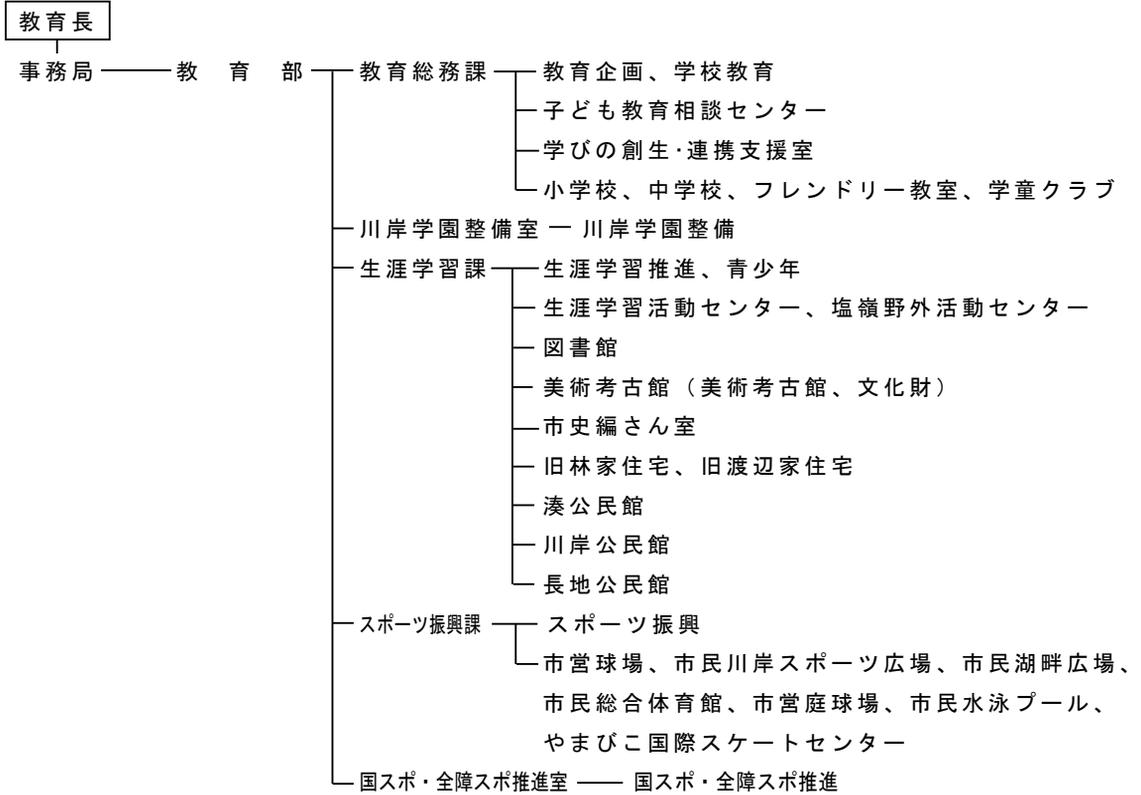
令和7年度 岡谷市組織図

R7. 4. 1





教育委員会



- 選挙管理委員会 ————— 事務局
- 監査委員 ————— 事務局
- 公平委員会 ————— 事務局
- 農業委員会 ————— 事務局 ———— 農地
- 固定資産評価審査委員会 — 事務局
- 議会 ————— 事務局 ———— 庶務、議事



作成：岡谷市総務部財政課

ご意見等ありましたら、お寄せください。

電話 0266-23-4811

FAX 0266-24-0689

E-mail [zaisei@city.okaya.lg.jp](mailto:zaisei@city.okaya.lg.jp)